



平成29年度

若手教員〔初任者〕研修 講座（特別支援学校）

第13日

●平成29年10月12日（木）

特別支援学校には、地域の小学校で学んでいた子供たちもたくさんいます。そのため、そうした子供たちがどのような学びを積み重ねてきていたのかを知るために、特別支援学校の教員であっても、小学校の学びの様子を知ることが、とても大切なことです。

この日は、日立市立大久保小学校において、実際に授業を参観させていただいたり、子供たちと交流したり、校長先生から講話をいただいたりしながら、小学校の学びについて研修しました。特別支援学級での個別指導の様子、通常の学級で子供たちが学ぶ姿、1クラス30人以上の子供たちを前に授業をする大久保小学校の先生方の指導方法、そして校長先生の熱い期待を込めたメッセージから、受講者は、たくさんのことを吸収しようと一生懸命でした。

受講者からは、「児童の興味を引きつける発問や板書の工夫、授業中のムード作り、教材提示の仕方など、通常の学級での一斉指導ならではの先生方の指導技術に、多くのことを学びました。」「特別支援学校教員としても、これから通常の学校と関わる機会があると思うので、学校間で協力しながら、子供たちを育てていきたいです。」などの感想が聞かれました。